

いわき市 復興事業計画

～日本の復興を「いわき」から～

進捗状況の総括 (案)



<進捗状況の総括（案）>

平成 23 年 12 月に策定した『市復興事業計画（第一次）』は、復興ビジョンの体系にあわせ、5つの取組の柱に、合計 168 の取組を位置付けています。

復興事業計画については、国・県の制度の動向や事業内容が明らかになる中で、今後も新たな事業を位置付けるなど、計画の見直しが予想されます。そのため、現時点において、計画期間である 5 ヶ年間全体に対する進捗を評価することは困難であることから、今回、復興事業計画（第一次）の進捗を評価するに当たっては、第一次計画に位置付けた取組のうち、平成 23 年度から実施しようとする取組に対する進捗状況の評価することとします。また、進捗を評価するに当たっての視点としては、着手状況（取組に着手したかどうかの視点）と取組状況（計画どおり取り組んだかどうかの視点）の 2 つの視点により評価することとします。

まず、平成 23 年度末の着手状況としては、復興事業計画（第一次）に位置付けのある 168 の取組のうち平成 23 年度に着手するとしていた取組 139 に対し、前倒し着手した 2 取組を含む 140 取組に着手しており、その着手率は 100.7%となっています。また、平成 23 年度末の取組状況としては、概ね計画どおり着手している、または前倒し着手している取組が 139 取組あり、その取組率は 100.0%となっています。

これらを踏まえると、平成 23 年度末における復興事業計画（第一次）の進捗状況は、概ね計画通り進捗している状況にあると評価されます。

また、参考までに事業費ベースでは、復興事業計画の策定時点において、平成 23 年度の事業費は、20,089 百万円と見込んでいましたが、モニタリングや除染等の未確定であった事業費を加え、最新の状況に置き換えた事業費は 22,948 百万円となっています。

[平成 23 年度に着手できなかった取組み]

○大学医学部寄附講座の開設（取組の柱 2）

⇒医科大学等と交渉を行ったが、医師不足により寄附講座の開設には至っていない。

[一部遅延した取組み（上記除く）]

○農地の除塩（取組の柱 4）

⇒農地の除塩に必要な農業用水の確保ができなかったことなどから、対象地域 128ha のうち 57ha の作業が遅れている。

[前倒し実施した取組み]

○FM 放送の難聴地域の解消（取組の柱 3）

⇒平成 24 年度に難聴地域の解消に向け検討と位置付けていたが、国の平成 23 年度第 3 次補正予算において、難聴地域の解消につながるコミュニティ FM 中継局整備に係る経費が対象となる補助制度「原子力災害避難住民等交流事業費補助金」が創設されたことから、コミュニティ FM 中継局（13 局）を設置することとして平成 23 年度中に方針を決定している。

○いわきの復興、未来を担う人材の育成（取組の柱 5）

⇒計画策定時においては、創設される国の 24 年度新規補助制度の活用し、いわき・わくわく「しごと塾」を開催することを想定していたが、国の 23 年度第 3 次補正予算において当該事業が先行実施されることとなったため、平成 24 年度の円滑な事業実施に向けて、平成 23 年度中に実行委員会を開催し、体験内容や日程等について前倒しで協議している。

□ 平成 23 年度進捗状況

取組の柱	計画位置付け取組数		着手状況		取組状況			
	総取組数	うち 23 年度から着手取組数	23 年度に着手済取組数	着手率	概ね計画通り進捗	前倒し実施	取組率	一部遅延
		(A)	(B)	(B) / (A)	(C)	(D)	(C+D) / (A)	
取組の柱 1 「被災者の生活再建」	30	28	28	100.0%	28	0	100.0%	0
取組の柱 2 「生活環境の整備・充実」	59	53	52	98.1%	52	0	98.1%	1
取組の柱 3 「社会基盤の再生・強化」	16	12	13	108.3%	12	1	108.3%	0
取組の柱 4 「経済・産業の再生・創造」	49	33	33	100.0%	32	0	97.0%	1
取組の柱 5 「復興の推進」	14	13	14	107.7%	13	1	107.7%	0
合計	168	139	140	100.7%	137	2	100.0%	2

(摘要)

- ・ 計画位置付け取組数：復興事業計画（第一次）に位置付けのある取組みの数
- ・ 23 年度から着手取組数：復興事業計画（第一次）において、平成 23 年度から取組みに着手することとしている取組みの数
- ・ 23 年度に着手済取組数：復興事業計画（第一次）に位置付けのある取組みのうち、平成 23 年度中に着手している取組みの数
- ・ 着手率：復興事業計画（第一次）において、平成 23 年度から取組みに着手することとしている取組みの数に対し、平成 23 年度中に着手している取組みの数の割合
- ・ 前倒し実施：平成 24 年度以降から着手することとしていた取組みのうち、平成 23 年度中に着手している取組みの数
- ・ 取組率：復興事業計画（第一次）において、平成 23 年度から取組みに着手することとしている取組みの数に対し、平成 23 年度中に計画どおり着手している取組みの数または前倒し実施している取組みの数の割合
- ・ 一部遅延：復興事業計画（第一次）に位置付けのある取組みのうち、平成 23 年度中に取り組むとしていた内容の一部を翌年度以降に取り組むこととしている取組みの数

【参考】

□ 平成 23 年度事業費

(単位：百万円)

取組の柱	計画位置 付け事業 費	最新の 状況に 置き換 えた事 業費	差額	差額の主な理由
	(A)	(B)	(B)-(A)	
取組の柱 1 「被災者の生活再建」	9,754	10,190	436	「モニタリングの実施」、「住宅の一時提供」等の事業費を追加
取組の柱 2 「生活環境の整備・充実」	2,474	3,451	977	「除染の実施」等の事業費を追加
取組の柱 3 「社会基盤の再生・強化」	273	1,570	1,297	「宅地・団地被害に対する支援」、「災害関連地域防災がけ崩れ対策事業」、「被災市街地復興土地区画整理事業」、「防災集団移転促進事業」等の事業費を追加
取組の柱 4 「経済・産業の再生・創造」	7,576	7,725	149	「小名浜港周辺地域の復興」、「加工食品等のモニタリングの支援」等の事業費を追加
取組の柱 5 「復興の推進」	12	12	0	
合計	20,089	22,948	2,859	

(摘要)

- ・ 最新の状況に置き換えた事業費：復興事業計画（第一次）策定時の事業費の見込みに、未確定であった事業の費用（モニタリング、除染等の経費、平成 23 年 12 月以降の補正予算など）を加えたもの

※決算額については、現在、確認をしているところである。